

## ■事業報告書の概要

### 管理業務の実施状況

#### 1 施設管理の充実

施設周辺の除草、樹木伐採及び老朽化した施設設備の修繕を行った。

#### 2 利用者サービスの向上

施設ホームページやSNSを活用して、施設紹介や旬のイベントの情報発信を行った。

また、他の財団施設と連携した事業の実施や彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会と協働して史跡の活用を図った。

### 自主事業の実施状況

区分		令和6年度	令和5年度
常設展（国史跡上淀廃寺跡の出土品、古代の淀江の変遷の展示）	利用者数	1,857人	2,036人
	収入額	372,840円	416,160円
企画展（弥生の暮らし展、彼岸花の里俳句・フォトコンテスト作品展等）	利用者数	259人	—
	収入額	—	—
教育普及事業（体験学習、出前講座、史跡ガイド等）	利用者数	1,963人	1,118人
	収入額	—	—
連携事業（上淀廃寺彼岸花ウィーク、美水の郷「秋麗ウォーク等）	利用者数	668人	1,355人
	収入額	—	—
合 計	利用者数	4,747人	4,509人
	収入額	372,840円	416,160円

※自主事業の収入は、指定管理者の収入になっています。

### 学芸員による主な調査研究実績

調査名	概要
弥生時代の遺跡の資料調査	日本海沿岸に立地する弥生時代の遺跡の環境形成や当時の暮らしの様子を比較研究し、その成果を企画展「弥生の暮らし～ラグーンに暮らしの人々～」に反映した
向山古墳群の資料調査	向山古墳群の古墳に造られた埋葬施設や出土品の埴輪等を研究し、その成果を史跡指定25周年の記念企画展「よどえ向山古墳群！展」に反映した。
奈良時代及び平安時代における食の調査	奈良時代及び平安時代における食についての調査を実施し、その成果を体験学習事業「日本の古代食“蘇”ってなあに？」に反映した。
古代の土器の調査	古代の土器づくりや焼成方法の研究を行い、その成果を体験学習事業「つくって！やいて！完成させよう古代のどき」に反映した。
松波関係資料の調査	市指定有形文化財の松波農兵隊遺品の調査を実施し、今後活用できるように成果内容の資料整理を行った。

### **管理業務の実施に係る収支状況**

収入額の合計…18,211,170 円（うち指定管理料 17,645,000 円）

支出額の合計…19,408,396 円

### **■ご意見・ご質問**

- ・ 事業報告書の内容についてのご質問は…  
文化振興課 電話：0859(23)5436 まで
- ・ 指定管理者制度についてのご意見・ご質問は…  
総務管財課 電話：0859(23)5323 まで  
お寄せください。